

日能研スノーキャンプ 2017 開催しました

2017年3/26(日)～3/29(水)に、福島県裏磐梯会場にて、小学3・4年生と日能研の6年生を対象に、日能研スノーキャンプ2017を開催しました。

「自分で決める」をやってみるキャンプ

日能研のスノーキャンプは「アドベンチャー教育」と「体験的学び」をベースとした、

【自分で考え、自分で判断し、自分の意思で行動を起こすチカラ=自己決定力】を育むプログラムと、

「自分で決める」にチャレンジしている子どもに一人の仲間として寄り添い、向き合い、時に本気でケンカが出来る、大人と未知なるチャレンジをしてみようとする子どもで創り続けているキャンプです。

また、豊かな自然に囲まれたキャンプ場で、日常生活では出会えないさまざまなアドベンチャー体験に向き合い、仲間との協働で臨むことで、積極的に、肯定的に「自己」と向き合うきっかけをつくっていきます。

自然の中に一つだけの正解や模範解答はありません。その時その場での判断が求められる中で、自分で決めて行動する、仲間と話しあい決めていく。仲間とのやり取りをその都度ふり返りをして、先に進んでいきます。

雪の中のビバーク体験

日能研スノーキャンプのプログラムには、仲間同士で家(イグルー：エスキモーの家)をつくり、その家で寝る雪中泊体験があります。

雪中泊の前夜から装備の確認。出された情報を元に仲間同士に必要な物を自分のザックに詰め込みます。良く起こる事が、ザックに寝袋が入らない問題。最初はグループの仲間同士で、どうしても入らない時に大人も参加しての知恵の出し合い。やっと詰め終わった後に、その日の夜に使う薬や服までしまっていて、次の日の朝、出発前に再度パッキングする…。

ホテルから雪中泊をする場所に着いたら、グループ毎にどんなイグルーにするか、どこに建てるかの作戦会議。ずっと話していると寒くなってきて、でも体を動かし始めるとすぐに汗ばんでくる。そんな暑さと寒さとの戦いもあります。楽しくて夢中でつくる時もあれば、途中で飽きてしまったり、失敗してしまってケンカになったり、とココロも大きく動きます。この自分たちで家をつくるという体験で、「こうするといいよ!」「こんな家にしようよ!」と自分の意見と仲間の意見がたくさん出てきます。その中で自分がやる、仲間とともにやる・成し遂げることに出会います。

今年の福島県裏磐梯会場には沢山の雪があり、しかも、軽くて接着しやすい雪でした。

比較的早く出来たあるグループは、少し離れた所からボブスレーの様に家に入れるような工夫をしていました。

作っている時はそれはそれは楽しそうでしたが、一度入ってみると出るのがとても大変。みんなで笑いながら出られないーと叫んでいました。そして、仲間と作った家で、一晩共に寝る。言葉にすると20文字程度の事ですが、実際に体験すると、前日とは比べ物にならないくらい、子ども達は、グループは成長しています。

イグルー作りからホテルに戻るとどんな事があったか、どんな感情が沸き起こったかのふり返り。「何が起こったのか」「それってなんで」。起きた事や感情が子ども達の中で言語化されていきます。これから先、雪の中でイグルーをつくり、雪中泊するなんて事はそうそう無いと思います。ですが、この体験を通して、仲間と共にいる、自分で、自分たちで決めるにチャレンジしたことで、新しいグループに出会った時に、「さあ、やってみよう!」の気持ちで臨めるのではないのでしょうか。

<本件に関するお問合せ先>

日能研本部 TEL : 045-473-2311 / FAX : 045-475-0544 / e-mail : pr@nichinoken.co.jp

